

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	宇地原 里香	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	入学オリエンテーション				36
	2	志学講演会				4
	3	親睦会				6
	4	クラス行事				6
	5	ビーチパーティ				6
	6	学期初め・末HR				14
	7	学園祭				40
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率100pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅠA(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(3級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	授業の進め方の説明、自己紹介、イントロダクション				2
	2	【1章】コンピュータの基礎知識				2
	3	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)				8
	4	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)				8
	5	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)				8
	6	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)				8
	7	【6章】マルチメディア				4
	8	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				12
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	授業態度10pt、章テスト30pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験20pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅡA(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定3級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説				2
	2	第1章 システム開発とマネジメント				11
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略				12
	4	第3章 企業と経営戦略				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				15
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
			科目単位数	2	合計時間数	52
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義		講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅢA(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉		科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(I T)技術者として働くための専門知識を学習する。						
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	第1章 データベース					
	2	1節 データのモデル化					2
	3	2節 データベース設計					2
	4	3節 データの正規化					2
	5	4節 SQLの基本					2
	6	5節 SQLの応用					2
	7	6節 データベースの演算					2
	8	7節 データベース管理システム					2
	9	8節 データベース応用					2
	10	章末テスト データベース レポート形式					2
	11	第2章 ネットワーク					
	12	1節 ネットワーク方式					2
	13	2節 OSI基本参照モデル					2
	14	3節 TCP/IPプロトコル					2
	15	4節 IPアドレス					2
	16	5節 ネットワーク管理					2
	17	6節 TCP/IPアプリケーション					2
	18	7節 ネットワーク応用技術					2
	19	章末テスト ネットワーク レポート形式					2
	20	第3章 情報セキュリティ					
	21	1節 情報セキュリティ					2
	22	2節 システムへの攻撃手法					2
	23	3節 暗号化技術					2
	24	4節 認証技術					2
	25	5節 セキュリティ技術					2
	26	6節 セキュリティリスク					2
	27	7節 セキュリティ管理					2
	28	章末テスト ネットワーク レポート形式					2
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	50
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(3級・2級)						
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。						
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	プログラム設計ⅠA		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修	
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。						
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	第1章 アルゴリズム入門 アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造			2		
	2	第2章 流れ図の基本パターン 流れ図 連続型 選択型 反復型			4		
	3	第4章 計算のアルゴリズム 合計平均 ベキ乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題			6		
	4	第6章 配列操作 1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題			6		
	5	第3章 疑似言語の基本パターン 疑似言語とは 疑似言語の表記法			1		
	6	疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題			2		
	7	第5章 手続・関数 手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題			2		
	8	第7章 探索のアルゴリズム 探索処理とは 線形探索 ブロック探索			5		
	9	2分探索 ハッシュ探索 練習問題			5		
	10	第8章 整列のアルゴリズム 整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法			8		
	11	練習問題(サーティファイ情報処理2級2部_疑似言語・基本情報技術者試験_疑似言語)			9		
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		科目単位数			2	合計時間数	50
	教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造					
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習						
成績評価方法	出席評価点10pt、チェックテスト40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語 I A (Java)		担当者	宇地原 里香		科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身につける。						
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)					2
	2	第0章 Javaとオブジェクト指向					1
	3	第1章 Javaの基礎 (Javaとは・プログラムの構造確認・演算子・変数・型変換)					10
	4	第2章 分岐 (条件分岐とは・if文・if文のネスト・条件を組み合わせる・switch文)					7
	5	第3章 繰り返し (繰り返しとは・for文・多重ループ・while文・do-while文)					8
	6	第4章 クラスとメソッド (クラスとインスタンス・メソッドの定義・クラスのメンバ)					6
	7	第5章 カプセル化 (カプセル化とは・アクセス修飾子・コンストラクタ)					2
	8	第6章 クラスの継承 (継承とは・スーパークラスとサブクラス・ポリモフィズム)					3
	9	第9章 クラスライブラリ(Stringクラス、Integerクラス、列挙型)					4
	10	検定対策_演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)					2
	11	検定対策 (Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)					13
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	2	合計時間数	58
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集						
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)						
成績評価方法	授業態度10pt、確認テスト(課題)20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 5年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー 実習		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・生成AIの安全な利用方法を習得し、情報の真偽を見極める力を養うとともに、仕事・趣味・学習のあらゆる場面で活用できる実践力を身に付ける。 ・基本的なパソコンの操作の習得					
到達目標	・生成AIにおける情報漏洩や著作権のリスクを理解し、適切なプロンプト(指示文)を入力できる。 ・AIの回答を鵜呑みにせず、批判的思考を持って情報を取捨選択できる。 ・仕事、趣味、学習の各シーンにおいて、目的に応じた適切な指示をAIに与え、望ましい成果物を得られる。 ・ホームポジションでタイピングできる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:AIって何？				4
	2	第2章:生成AIってどんなAI？				4
	3	第3章:いまの生成AIでできること				4
	4	第4章:生成AIを安全に使うために				5
	5	第5章:文章を作るAIを使いこなそう！				4
	6	期末テスト				1
	7	タイピング練習 ※各授業内で実施				
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数		1	合計時間数	22
教科書	マンガで合格！生成AIパスポート テキスト&問題集					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習問題・演習課題					
成績評価方法	出席率10pt 文章入力スピード10pt 章末テスト50pt 期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナーⅠA	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる ・ビジネスメールの書き方の基本を習得する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)			2
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)			2
	3	ビジネスメールの書き方			3
	4	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)			2
	5	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	6	【練習問題】			
	7	尊敬語と謙譲語の混同			2
	8	二重敬語			1
	9	確認テスト			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		1	合計時間数
教科書	知っておきたいビジネスのマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅠ		担当者	長嶺 博紀		科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方を知る						
到達目標	1. 社会人に必要な知識、意識を身につけ、学生と社会人のメリハリをつけて行動できる。 2. 自己分析を行い、自身のPRができる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	就職活動の基礎を整える(身だしなみ、社会人としての心構え)					4
	2	就職活動の基礎を整える(履歴書の準備)					4
	3	就職活動の基礎を整える(業界研究)					2
	4	就職活動の基礎を整える(自己分析)					5
	5	面接の流れロールプレイング①					5
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	1	合計時間数	20
教科書	就職活動の進め方(KBC学園)						
時間外学習	授業の復習。提出課題作成。企業研究や自己分析に対する意識向上。						
成績評価方法	出席状況10pt、授業態度20pt、レポート提出70pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを相手に伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:感謝				2
	2	第2章:感動				2
	3	第3章:思いやり・気くばり				2
	4	第4章:明朗				2
	5	第5章:挨拶				2
	6	第6章:素直				2
	7	第7章:プラス思考				2
	8	第8章:チャレンジ精神				4
	9	第9章:永久戦力				2
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			1	合計時間数
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席状況10pt、授業態度20pt、科目終了後の授業レポート70pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論 I B(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(2級1部)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【2章】コンピュータの数値表現				5
	2	【4章】システムの構成要素				5
	3	【5章】ソフトウェア				4
	4	【8章】アルゴリズムとデータ構造				2
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				18
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(2級)					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価 方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験40pt、検定試験得点30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅡB(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 OR・IE				7
	2	第5章 企業会計				3
	3	第6章 法務と標準化				6
	4	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅢB(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・システム開発における開発プロセスや要件定義、設計に関する知識を学ぶ。 ・ソフトウェア開発における要件定義、設計構築、テスト、受入れ支援、保守に関する知識を学ぶ。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 ユーザーインターフェース				
	2	1節 ユーザーインターフェース				3
	3	第5章 システム開発技術				
	4	1節 システム開発とは				3
	5	2節 システム開発のプロセス				3
	6	3節 システム要件定義				3
	7	4節 システム設計				3
	8	5節 ソフトウェア要件定義				3
	9	6節 ソフトウェア設計				3
	10	7節 ソフトウェア構築				3
	11	8節 統合・テスト				3
	12	9節 導入・受入れ支援と保守				3
	13	10節 ソフトウェア開発手法				3
	14	章末テスト ユーザインターフェース・システム開発技術				3
	15	サーティファイ情報処理検定2級1部対策授業				9
	16	サーティファイ情報処理検定2級2部対策授業				5
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(2級)、情報処理技術者試験科目A/B模擬試験問題集					
時間外 学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。					
	実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期	
授業科目	プログラム設計 I B		担当者	長嶺 博紀		科目必修区分	必修	
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。							
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。							
授業計画	内 容						授業時間数	
	1	第8章 整列のアルゴリズム その他の整列方法 練習問題					6	
	2	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン オブジェクト指向とは					3	
	3	オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題					3	
	4	第10章 データ構造	データ構造の概要 配列 リスト				10	
	5	スタックとキュー 木構造 練習問題					7	
	6	第11章 実践アルゴリズム	基数変換 経路選択				3	
	7	文字列探索 順位付け					3	
	8	文字列の比較 逆ポーランド記法					3	
	9	サーティファイ情報処理2級2部検定対策					16	
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
				科目単位数	2	合計時間数		54
	教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造						
時間外 学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度							
成績評価 方法	出席評価点10pt、検定取得40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt							
	学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	教員		備考					
実務経験紹介								

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習		講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語 I B (Java)		担当者	宇地原 里香		科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。						
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サートファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	第4章 クラスとメソッド(前期おさらい(メソッド、メンバの復習)・オーバーロード・ジェネリクス)					4
	2	第5章 カプセル化(カプセル化・アクセス修飾子・コンストラクタ・パッケージ)					6
	3	第6章 クラスの継承(継承・抽象クラスと抽象メソッド・ポリモフィズム)					8
	4	第7章 クラス応用(インタフェース、定義と継承、クラスの継承とインターフェースの実装)					4
	5	第7章 クラス応用(内部クラス、ローカルクラスと無名クラス、ラムダ式)					3
	6	第8章 例外クラス(エラーとは・try-catch文・finally文・throw文・throwsキーワード)					5
	7	第9章 クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値操作、列挙型)					4
	8	第10章 コレクションフレームワーク(List・Set・Map・ラムダ式)					13
	9	第11章 ファイル操作(ファイル操作の基本、入出力とストリーム、ファイルの読み書き)					6
	10	第12章 マルチスレッド(マルチスレッド、Threadクラス、Runnableインタフェース)					3
	11	検定対策 (Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)					28
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	84
	教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集					
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)						
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 5年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習		担当者	山下 修	科目必修区分	必修
授業概要	下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。 情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。 また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。					
到達目標	・グループワークを通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)				1
	2	演習:動画視聴およびグループワーク①				2
	3	演習:今年度(下期対策)試験(午前)①				3
	4	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)①				3
	5	演習:動画視聴およびグループワーク②				3
	6	演習:今年度(下期対策)試験(午前)②				3
	7	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)②				3
	8	演習:動画視聴およびグループワーク③				3
	9	演習:今年度(下期対策)試験(午前)③				3
	10	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)③				3
	11	演習:動画視聴およびグループワーク④				3
	12	演習:今年度(下期対策)試験(午前)④				3
	13	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)④				3
	14	演習:今年度(下期対策)試験(午前)				3
	15	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)				3
	16	演習:今年度(下期対策)試験(午後)				3
	17	講義:今年度(下期対策)試験解説(午後)				3
	18	演習:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験対策(午後)				3
	19	講義:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験解説(午後)				3
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	出るところだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2026年版、IPAサイト					
時間外学習	試験学習サイトの使用					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザインⅡ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方を知る					
到達目標	1. 就職面接で自己を魅力的に表現できる。 2. 自己分析を行い、自身のPRができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	面接の流れロールプレイング②				5
	2	面接の流れロールプレイング③				5
	3	面接の流れロールプレイング④				5
	4	就職活動の基礎を整える(企業研究)				22
	5	履歴書作成(自己PR、志望動機添削)				13
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			3	合計時間数
教科書	就職活動の進め方(KBC学園)					
時間外 学習	授業の復習。提出課題作成。企業研究や自己分析に対する意識向上。					
成績評価 方法	授業態度20pt、レポート提出30pt、センスアップセミナー模擬面接結果40pt、出席状況10pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	学期初め・末HR				12
	2	志学講演会				4
	3	親睦会				6
	4	ビーチパーティ				6
	5	学園祭				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	出席率100pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習		講義時期	前期
授業科目	情報処理技術者試験演習		担当者	伊禮・喜友名		科目必修区分	必修
授業概要	上期の国家試験「基本情報技術者試験」合格に向けて試験対策を実施する。 基本情報技術者試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。						
到達目標	・演習、講義を通して知識の定着。 ・基本情報技術者試験の合格。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)、アカウント作成					2
	2	演習:模擬試験(科目A①、科目B①)					4
	3	講義:模擬試験(科目A①、科目B①)の解説					6
	4	講義:模擬試験(科目A①、科目B①)の解説					4
	5	演習:模擬試験(科目A②)					2
	6	講義:模擬試験(科目A②)の解説、演習:模擬試験(科目B②)					6
	7	講義:模擬試験(科目B②)の解説					4
	8	演習:模擬試験(科目B③)					4
	9	講義:模擬試験(科目B③)の解説					6
	10	演習:模擬試験(科目B④)					4
	11	講義:模擬試験(科目B④)の解説					6
	12	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題1)					4
	13	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題1)の解説					6
	14	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題2)					4
	15	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題2)の解説					6
	16	演習:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題3)					4
	17	講義:模擬試験(出るところだけ基本情報 予想問題3)の解説					8
	18	演習:模擬試験(IPA令和5・6公開問題)					6
	19	講義:模擬試験(IPA令和5・6公開問題)の解説					6
	20	期末テスト(科目A／科目B)					4
	21	期末テスト(科目A／科目B)の解説					
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	96
教科書	基本情報技術者試験 科目A/B 模擬試験問題、出るところだけ基本情報 科目B、IPAサイト						
時間外 学習	試験学習サイトの使用						
成績評価 方法	出席率10pt、授業態度10pt、課題提出状況50pt、期末テスト30pt						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期	
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(OCJ-P)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修	
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Java SE Bronze 試験合格に向けて演習を含めた学習を行う。						
到達目標	・Java言語の基本文法について説明ができる。 ・オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 ・Java言語の上級者の指導のもとで開発作業を行うことができる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	シラバス説明・Java開発環境の確認				2	
	2	【教科書】第1章 Java言語の プログラムの作成				4	
	3	【教科書】第2章 データの宣言と使用				4	
	4	【教科書】第3章 演算子と条件文(分岐文)				6	
	5	【教科書】第4章 繰り返し文と繰り返し制御文				6	
	6	【教科書】第5章 オブジェクト指向コンセプト				2	
	7	【教科書】第6章 クラス定義とオブジェクトの生成・使用				6	
	8	【教科書】第7章 継承				6	
	9	【教科書】第8章 ポリモフィズムとパッケージ				6	
	10	【問題集】第1章 Java言語の プログラムの流れ				2	
	11	【問題集】第2章 データ宣言と使用				3	
	12	【問題集】第3章 演算子と分岐文				3	
	13	【問題集】第4章 ループ文				3	
	14	【問題集】第5章 オブジェクト指向の概念				2	
	15	【問題集】第6章 クラス定義とオブジェクトの使用				3	
	16	【問題集】第7章 継承とポリモーフィズム				3	
	17	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験①再				6	
	18	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験②再				4	
	19	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験③再				6	
	20	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験④再				5	
	21	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験①再				5	
	22	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験②再				4	
	23	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験③再				4	
	24	OCJP 模擬試験・解説 Bronze 模擬試験④再				4	
	25	OCJP 本番試験				5	
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
				科目単位数	4	合計時間数	104
	教科書	【教科書】オラクル認定資格教科書 Javaプログラマ Bronze SE 試験番号1Z0-818 【問題集】徹底攻略Java SE Bronze問題集[1Z0-818]					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を推奨						
成績評価方法	授業態度20pt、中間試験20pt、模擬試験4回30pt、本番試験(30pt) 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年(2年制)		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	開発実習Ⅰ(基礎)		担当者	宇地原 里香	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語でのソフトウェア開発について、統合開発環境(eclipse)の準備や使い方を学び、GUIプログラムやデータベース利用、Webアプリケーション作成などの演習を通し、ソフトウェア開発の下流工程のプログラミング、コーディング、デバッグの技能を習得する。					
到達目標	1. 統合開発環境(eclipse)を使って、コーディング、デバッグができる 2. Java Swing を使ったGUIプログラムを作成できる 3. データベースの利用やWebアプリケーションの作成ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	01 授業概要と授業実施前の準備				1
	2	02 統合開発環境(eclipse)のインストール、設定、動作確認				2
	3	03 統合開発環境(eclipse)でのコーディング・デバッグ演習				6
	4	04 基本アルゴリズムのプログラミング演習				20
	5	05 GUI(Swing)プログラムの基礎知識と演習				22
	6	06 データベース(MySQL)のインストール、設定、動作確認、テーブル作成演習				2
	7	08 データベース(MariaDB)のアクセスプログラムDAO(Data Accesss Object)の演習				15
	8	09 デザインパターンMVC(Model-View-Controller)の基礎知識				14
	9	16 Webアプリケーションの基礎知識				10
	10	予備				
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	自作プリント、スライド					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった演習や課題の作成を行う					
成績評価方法	授業態度(20pt)、授業での演習(40pt)、演習課題(40pt)					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	Web開発演習 I (HTML)		担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。					
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	【Webサイト作成の事前準備】				2
	2	【HTMLの基本】				8
	3	【CSSの基本】				8
	4	【Webサイトの作成】				8
	5	【レスポンス対応】				8
	6	【Webサイトの集客】				8
	7	【Webサイトの公開】				8
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンダード受験に向けて】				22
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	3	合計時間数
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集					
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出					
	検定合格基準に達していない学生への補講対応					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出30pt、出席率20pt、検定取得状況30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅢ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、応募書類等のブラッシュアップ、自己分析から自己PRや志望動機などへの展開法、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。					
到達目標	1. 自己を振り返る手法(自己分析)を理解し、習得・活用できる 2. 社会で活躍するためのスキルを理解し、身に付けるための行動に移すことができる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	科目の目的などの説明				1
	2	未内定者 ・応募書類等のブラッシュアップと作成 ・自己分析から自己PRや志望動機などへの展開法 ・面接の練習 ・就職試験受験後の振り返りと対策 内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施				77
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
				科目単位数	3	合計時間数
教科書						
時間外学習						
成績評価方法	授業態度40pt、取り組み姿勢30pt、提出物30pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	志学Ⅱ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に、社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、ロールモデルを探し自身の「志」を具体化させていく事を目指す。					
到達目標	志高い人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、他者理解を含め、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てることができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	志学Ⅱ 序章				2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは				2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ				6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く				2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く				6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」				2
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	志学Ⅰ・Ⅱ (KBC学園オリジナルテキスト)					
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)					
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	データベース入門 I (OSS-DB)		担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	・PostgreSQLを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSのデータを定義したり、操作するための標準言語であるSQLの書き方を学ぶ。 ・基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を実習を通じて、実践的な学習を行う。					
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	データベースの環境構築				2
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』				3
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』				6
	5	データ型				1
	6	データベース定義の応用				1
	7	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴				1
	8	2章・データベースの基礎知識				3
	9	3章・インストール				3
	10	4章・標準付属ツール				5
	11	5章・設定ファイル				6
	12	6章・バックアップとリストア				6
	13	7章・基本的な運用管理				4
	14	8章・SQLとオブジェクト				9
	15	9章・組込関数と演算子				3
	16	10章・トランザクション				3
	17	試験対策				21
	18	本試験				4
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	・オープンソースデータベース標準教科書・OSS教科書OSS-DB Silver・Web問題集Ping-t					
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供 Web問題集Ping-tを用いた試験対策					
成績評価方法	授業態度15pt、実習課題40pt、確認テスト15pt、本試験:30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	開発実習Ⅱ(応用)	担当者	山下 修	科目必修区分	選択
授業概要	Spring Frameworkを利用したWebアプリケーション開発を学習する				
到達目標	1. Springを利用して簡単なWebアプリケーション作成できるようになる。 2. Springで採用されている概念を理解する。				
授業計画	内 容			授業時間数	
	1	Webシステム構成とSpring開発環境			5
	2	開発環境構築			5
	3	(step00) Webアプリケーションを開発するベースとなるspring frameworkを使って、空っぽのアプリケーションを動かす。			5
	4	(step01) Webリクエストを受け取り、Webレスポンスを返すアプリケーションを動かす。MVCのControllerを導入する。(Web API、Rest)			5
	5	(step02) MVCのViewを導入する。			5
	6	(step03) MVCのModelを導入する。			5
	7	(step04) Webページからタスクを入力し、リストに追加できるようにする。(入力データの受け取り方)			6
	8	(step05) Webページからタスクを修正(更新)できるようにする。			6
	9	(step06) Webページからタスクを削除できるようにする。			6
	10	(step07) 例外ハンドラを導入する。(エラーページ)			6
	11	(step08) JDBCテンプレートを導入する。(データベース準備)			6
	12	(step09) Repositoryをメモリ版からPostgreSQL版へ変更する。(データベースを使ったタスク管理)			6
	13	(step10) 表示をリッチにするためにCSSを適用する。			6
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		科目単位数		3	合計時間数
教科書	Spring Boot3プログラミング入門(秀和システム)、テスト(独自)、サンプルプログラムと手順書(独自)				
時間外学習	時間中に動かすことができなかったプログラムを動かすところまで作成する 時間中に理解しきれなかったことをネットで調べて理解する				
成績評価方法	授業出席5pt、参加状況25pt、課題提出30pt、テスト結果40pt 学校基準により4段階評価する				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	WEB開発実習Ⅱ(PHP)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	選択
授業概要	・PHPを用いたWEBアプリケーション開発を行いながら、データベースの利活用やWEBサイト構築技術の知識を深める。					
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる。 2,PHP・MySQLを連携した、簡単なWebアプリケーションの作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				0.5
	2	①1章、心の準備編				0.5
	3	①2章、パソコン設定編				2
	4	①3章、プログラミング編				7
	5	①4章、データベース編				7
	6	②1章、いろいろ準備編				1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成				6
	8	②3章、商品管理システムの作成				5
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成				3
	10	②5章、スキルアップ				3
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成				8
	12	②7章、注文機能の作成				7
	13	作品制作・発表会				22
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	3	合計時間数
教科書	①いきなりはじめるPHP入門改訂版 ②気づけばプロ並みPHP改訂版					
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)					
成績評価方法	授業態度:20pt、演習課題:65pt、作品提出:15pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	後期	
授業科目	AI開発基礎(AI STUDIO)	担当者	喜友名 航	科目必修区分	選択	
授業概要	生成AIを正しく使いこなすための基礎リテラシーを学び、AI活用を体験する。 AI 開発基礎で学習した知識や開発手法を活用し、AIコーディングアシスタントを利用して開発実践する。					
到達目標	1. 生成AIを正しく使いこなすための基礎リテラシーを説明できる 2. 社会人としての基本業務におけるAIの活用方法を実践できる 3. AIコーディングアシスタントを利用して開発できる					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	授業の導入			2	
	2	生成系AIを知ろう			4	
	3	問題解決の考え方を知ろう			4	
	4	AIとセキュリティ			4	
	5	ビジネスシーンで使える生成AIの活用方法			4	
	6	オリジナル絵本を作ってみよう			4	
	7	ChatGPTを用いたプレゼンテーション作成			4	
	8	AI時代のシステム開発ドキュメント作成			12	
	9	AI時代のシステム開発概論			8	
	10	AIコーディングアシスタントを利用した開発手法			4	
	11	AIコーディングアシスタントを利用した開発実践			4	
	12	scikit-learnで色々な機械学習を試してみよう			8	
	13	予備時間			2	
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	学習システム内(AI STUDIO)資料					
時間外 学習	課題作成と提出、講座の復習					
成績評価 方法	授業態度30pt, 課題提出点50pt, 発表会20pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	講義、演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ		担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	選択
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する					
到達目標	・身だしなみの重要性を認識し、TPOに合わせ身だしなみを整えることが出来る・名刺の正しい扱い方を身につける(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	社会人としての心構え(学生と社会人の違い、身だしなみ、言葉遣い)				2
	2	尊敬語と謙譲語の使い分け				2
	3	名刺の取り扱い方				
	4	【演習】名刺の受け方・出し方、同時交換の仕方				2
	5	来客応対(応接室や乗り物などの席次)				2
	6	電話応対				
	7	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)				4
	8	【演習】かけ方				2
	9	慶弔のマナー				2
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	実践ビジネスマナー					
時間外学習	なし					
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	実習		講義時期	後期
授業科目	企業実習Ⅰ		担当者	企業担当者		科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。						
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	内定先企業において実務を伴う実習を行う					120
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
				科目単位数	4	合計時間数	120
教科書							
時間外 学習	新聞等においてニュース記事の情報収集						
	研修先業界の最新情報収集						
成績評価 方法	実習報告書100pt						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次	授業方法	実習		講義時期	後期
授業科目	企業実習Ⅱ	担当者	企業担当者		科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。					
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	内定先企業において実務を伴う実習を行う				120
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
		科目単位数		4	合計時間数	120
教科書						
時間外 学習	新聞等においてニュース記事の情報収集					
	研修先業界の最新情報収集					
成績評価 方法	実習報告書100pt					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次		授業方法	実習		講義時期	後期
授業科目	企業実習Ⅲ		担当者	企業担当者		科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。						
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	内定先企業において実務を伴う実習を行う					66
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
				科目単位数	2	合計時間数	66
教科書							
時間外 学習	新聞等においてニュース記事の情報収集						
	研修先業界の最新情報収集						
成績評価 方法	実習報告書100pt						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介							